

2017年度 豊岡市域の温室効果ガス排出量について ≪2020年11月6日作成≫

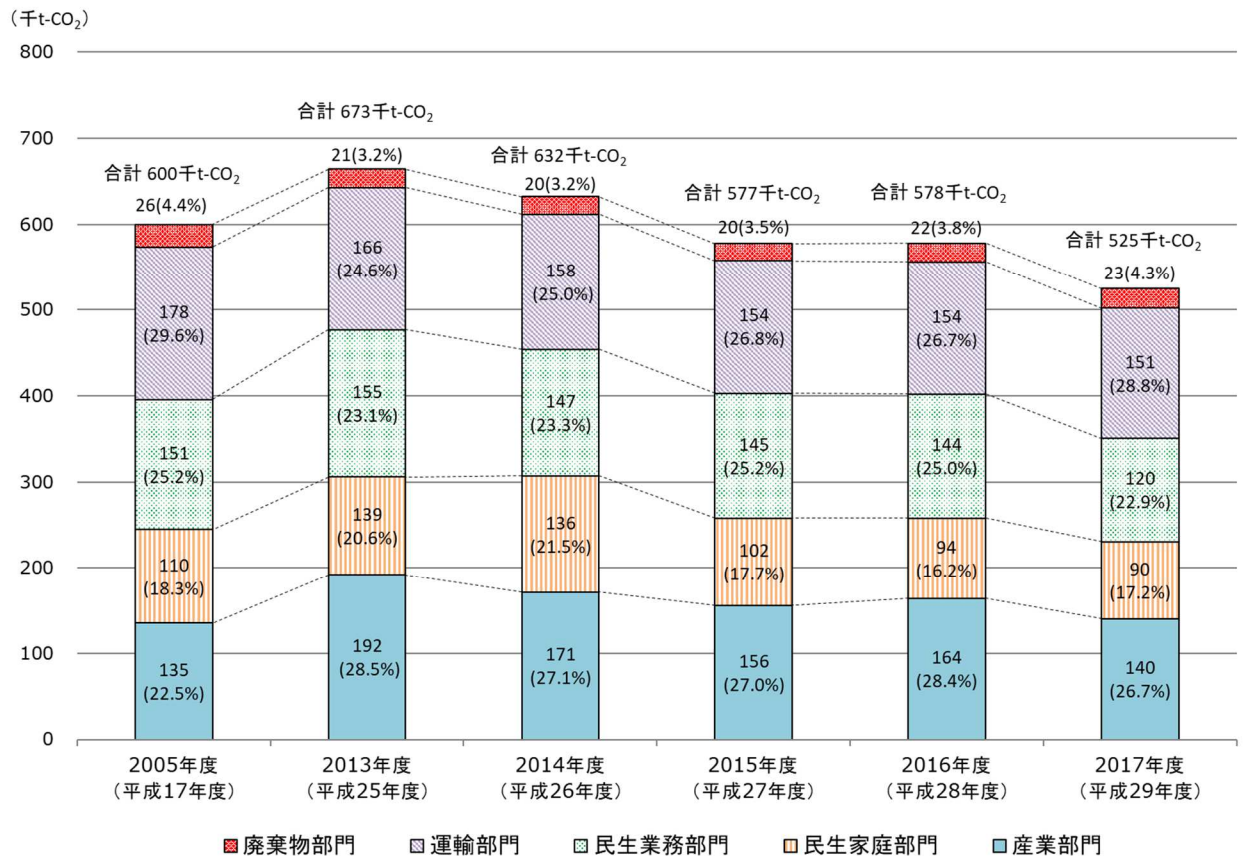
市では2030年度の市域の温室効果ガス排出量が2013年度比で▲28.1%とする目標を立て、取組みを進めています。このたび、2017年度の市域の温室効果ガス排出量を算定しましたので、お知らせします。

1. 市域総排出量

2017年度総排出量は、525千t-CO₂で、2016年度に比べ53千t-CO₂減少(9.2%減)しました(国：1.2%減、兵庫県：2.9%減*)。

また、豊岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の基準年度(2013年度)に比べ148千t-CO₂減少(22.0%減)しました(国：8.4%減、兵庫県：8.7%減)。

※ 兵庫県の削減率は、2017(H29)年度の温室効果ガス排出量(速報値)による数値である。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移 (2005年度、2013年度～2017年度)

2. 部門別増減状況と要因

<状況>

豊岡市部門別 CO2 排出量 (2013 年度・2016 年度・2017 年度の比較)

部門	部門内訳	2013 年度 排出量 (千 t-CO2)	2016 年度 排出量 (千 t-CO2)	2017 年度 排出量 (千 t-CO2)	削減割合 (%) 上段： 前年度比 下段： 2013 年度比	部門割合 2016→2017 (%)
産業	製造業、農 林水産業、 建築業、鉱 業	192	164	140	▲14.6 ▲27.1	28.4→26.7
民生 家庭	自動車を除 く家庭消費	139	94	90	▲4.3 ▲35.3	16.2→17.2
民生 業務	事務所、ビ ル、ホテル、 サービス業 など	155	144	120	▲16.7 ▲22.6	25.0→22.9
運輸	乗用車、バ ス、鉄道、 飛行機など	166	154	151	▲1.9 ▲9.0	26.7→28.8
廃棄物	廃棄物の埋 め立て及び 焼却、下水 処理	21	22	23	4.5 9.5	3.8→4.3
合計	—	673	578	525	▲9.2 ▲22.0	—

※ 端数処理の関係で、内数と合計が一致しない場合があります。

<要因>

・産業部門

前年度に比べ 14.6%と大幅に減少しました。電力のCO2 排出係数※（電気を作るために発生するCO2 の割合）が小さくなったことや製造業における化石燃料（特に石炭）の使用量が大幅に減少したことが要因の一つと考えられます。

・民生業務部門

前年度に比べ 16.7%と大幅に減少しました。電力のCO2 排出係数が小さくなったことや照明設備のLED 化や高効率な空調等の省エネ設備の導入などにより消費電力量が減少したことが要因の一つと考えられます。

